

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成26年4月30日

【四半期会計期間】 第63期第2四半期(自 平成25年12月21日 至 平成26年3月20日)

【会社名】 マルサンアイ株式会社

【英訳名】 MARUSAN-AI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 伊藤明徳

【本店の所在の場所】 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

【電話番号】 0564-27-3700

【事務連絡者氏名】 取締役管理統括部長 渡辺邦康

【最寄りの連絡場所】 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

【電話番号】 0564-27-3700

【事務連絡者氏名】 取締役管理統括部長 渡辺邦康

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所
(愛知県名古屋市中区栄3丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第2四半期 連結累計期間	第63期 第2四半期 連結累計期間	第62期
会計期間	自 平成24年9月21日 至 平成25年3月20日	自 平成25年9月21日 至 平成26年3月20日	自 平成24年9月21日 至 平成25年9月20日
売上高 (千円)	10,939,701	11,092,796	21,975,119
経常利益 (千円)	312,813	81,148	549,972
四半期(当期)純利益 (千円)	174,032	42,126	329,863
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	191,096	49,825	399,733
純資産額 (千円)	3,009,592	3,192,747	3,217,523
総資産額 (千円)	16,209,331	16,032,192	16,377,527
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	15.16	3.67	28.74
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	18.4	19.7	19.5
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	76,057	13,385	563,076
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	449,527	261,187	1,245,570
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	260,836	371,453	81,985
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	1,590,036	1,366,342	1,265,445

回次	第62期 第2四半期 連結会計期間	第63期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年12月21日 至 平成25年3月20日	自 平成25年12月21日 至 平成26年3月20日
1株当たり四半期 純損失金額 (円)	1.98	4.92

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（平成25年9月21日～平成26年3月20日）におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和を背景に円安及び株価の上昇など景気回復の兆しが見られるものの、平成26年4月からの消費税率引き上げによる個人消費の減速懸念及びウクライナ情勢等により、企業を取り巻く環境は、不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、世界的な穀物価格の高止まりに加え、円安による輸入原材料の上昇等、内需産業にとって経営環境は大変厳しい状況にあります。

みそ業界におきましては、競合メーカーとの競争激化による販売単価の下落や、食の多様化による出荷数量の減少が続いております。その一方で、「和食」がユネスコ文化遺産に登録されたことにより、今後国内外においてみその取扱いの増加が期待されます。

豆乳業界につきましては、健康志向の高まりを背景に、市場は引き続き堅調に推移しているものの、伸長率は鈍化しております。

このような環境の中で、当社は消費者の皆様方に安全で安心できる製品の提供に努めるとともに、事業の効率化やコスト削減に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、110億92百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は、52百万円（前年同期比73.1%減）、経常利益は、81百万円（前年同期比74.1%減）、四半期純利益は、42百万円（前年同期比75.8%減）となりました。利益の減少は、原材料コストの上昇、販売費及び一般管理費に含まれる広告宣伝費及び販売促進費等の増加によるものであります。

みそ事業

即席みそが好調だったものの、生みそ、調理みそが減少したため、売上高は、29億10百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

a. 生みそ

販売単価の回復が見られたものの、主力製品のダウンサイジング化及び値戻し等により出荷数量が減少したため、売上高は、21億22百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

b. 調理みそ

鍋スープ市場の競争激化により、みそ関連鍋スープの出荷量が減少したため、5億22百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

c. 即席みそ

特定企業向けの製品及び「粕汁」が好調に推移したため、売上高は、2億65百万円（前年同期比26.9%増）となりました。

豆乳飲料事業

豆乳及び飲料が堅調に推移し、売上高は、76億46百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

なお、持分法適用関連会社のアメリカン・ソイ・プロダクツ INC. につきましては、持分法による投資損失14百万円を営業外費用に計上しております。

a. 豆乳

健康志向の高まりを背景に堅調に推移し、売上高は、61億74百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

b. 飲料

アーモンド飲料が堅調に推移したため、売上高は、14億72百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

その他食品事業

鍋スープ市場の競争激化により、その他鍋スープの出荷量が減少したため、売上高は、5億35百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産

流動資産は、79億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億21百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、現金及び預金の増加1億7百万円等があったものの、受取手形及び売掛金の減少2億44百万円等によるものであります。

固定資産は、81億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億23百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、建物及び構築物の減少94百万円、機械装置及び運搬具の減少68百万円、投資有価証券の減少49百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、160億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億45百万円減少いたしました。

負債

流動負債は、80億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億15百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金の減少4億89百万円、未払金の減少2億43百万円等によるものであります。

固定負債は、48億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億94百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、長期借入金の増加3億7百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、128億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億20百万円減少いたしました。

純資産

純資産合計は、31億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、利益剰余金の減少32百万円等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ1億円増加し、13億66百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、13百万円（前年同期は76百万円の資金減少）となりました。これは、減価償却費3億78百万円等の資金増加に対し、仕入債務の減少額4億91百万円等の資金減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2億61百万円（前年同期は4億49百万円の資金減少）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出3億45百万円等の資金減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、3億71百万円（前年同期は2億60百万円の資金増加）となりました。これは、長期借入金の返済による支出13億72百万円等の資金減少に対し、長期借入れによる収入18億20百万円等の資金増加によるものであります。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、39百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、研究開発活動に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年3月20日)	提出日現在発行数(株) (平成26年4月30日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,480,880	11,480,880	名古屋証券取引所 市場第二部	単元株式数：1,000株
計	11,480,880	11,480,880		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年12月21日～ 平成26年3月20日		11,480,880		865,444		612,520

(6) 【大株主の状況】

平成26年3月20日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
株式会社佐藤産業	愛知県岡崎市羽根町字陣場103	1,525,300	13.29
佐藤公信	千葉県千葉市花見川区	903,420	7.87
マルサンアイ取引先持株会	愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地	588,000	5.12
マルサンアイ従業員持株会	愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地	582,900	5.08
中島典子	愛知県岡崎市	446,830	3.89
福島裕子	愛知県岡崎市	446,830	3.89
佐藤明子	千葉県千葉市花見川区	208,300	1.81
ひかり味噌株式会社	長野県諏訪郡下諏訪町4848番地1	200,000	1.74
中島治夫	愛知県岡崎市	189,800	1.65
福島重喜	愛知県岡崎市	189,800	1.65
計		5,281,180	46.00

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年3月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,455,000	11,455	同上
単元未満株式	普通株式 22,880		同上
発行済株式総数	11,480,880		
総株主の議決権		11,455	

(注) 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式664株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年3月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) マルサンアイ株式会社	愛知県岡崎市仁木町字荒 下1番地	3,000		3,000	0.03
計		3,000		3,000	0.03

(注) 当第2四半期会計期間末日現在の自己株式数は、3,664株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年12月21日から平成26年3月20日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年9月21日から平成26年3月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,457,725	1,565,433
受取手形及び売掛金	3,444,818	3,200,126
商品及び製品	771,463	633,638
仕掛品	513,122	500,336
原材料及び貯蔵品	510,079	592,976
その他	1,345,860	1,428,063
貸倒引当金	6,252	5,161
流動資産合計	8,036,817	7,915,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,715,349	2,621,186
機械装置及び運搬具(純額)	2,173,192	2,105,034
土地	2,642,135	2,598,325
その他(純額)	72,455	61,341
有形固定資産合計	7,603,133	7,385,887
無形固定資産	113,105	140,493
投資その他の資産		
投資有価証券	491,658	442,469
その他	149,162	164,279
貸倒引当金	16,350	16,350
投資その他の資産合計	624,470	590,398
固定資産合計	8,340,709	8,116,779
資産合計	16,377,527	16,032,192

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,990,464	2,501,060
1年内返済予定の長期借入金	2,221,662	2,362,041
未払法人税等	97,779	40,864
賞与引当金	323,745	296,671
未払金	2,584,453	2,340,501
その他	417,498	478,994
流動負債合計	8,635,603	8,020,133
固定負債		
長期借入金	2,842,626	3,149,994
退職給付引当金	1,359,664	1,349,644
資産除去債務	197,160	198,718
その他	124,948	120,955
固定負債合計	4,524,399	4,819,311
負債合計	13,160,003	12,839,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	635,039	635,039
利益剰余金	1,740,665	1,708,189
自己株式	1,672	1,672
株主資本合計	3,239,477	3,207,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,790	3,779
為替換算調整勘定	59,363	45,040
その他の包括利益累計額合計	45,572	41,261
少数株主持分	23,619	27,007
純資産合計	3,217,523	3,192,747
負債純資産合計	16,377,527	16,032,192

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月21日 至平成25年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月21日 至平成26年3月20日)
売上高	10,939,701	11,092,796
売上原価	8,060,253	8,263,785
売上総利益	2,879,448	2,829,010
販売費及び一般管理費	¹ 2,684,856	¹ 2,776,579
営業利益	194,592	52,431
営業外収益		
受取利息	1,593	3,122
技術指導料	9,265	7,595
不動産賃貸収入	11,950	11,625
デリバティブ評価益	72,883	26,291
為替差益	27,282	-
その他	32,102	32,223
営業外収益合計	155,077	80,857
営業外費用		
支払利息	24,211	23,913
持分法による投資損失	2,491	14,338
その他	10,153	13,887
営業外費用合計	36,856	52,140
経常利益	312,813	81,148
特別利益		
固定資産売却益	-	8,285
特別利益合計	-	8,285
特別損失		
固定資産除却損	26,460	11,443
その他	-	265
特別損失合計	26,460	11,709
税金等調整前四半期純利益	286,353	77,725
法人税等	111,544	33,216
少数株主損益調整前四半期純利益	174,808	44,509
少数株主利益	776	2,382
四半期純利益	174,032	42,126

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月21日 至平成25年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月21日 至平成26年3月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	174,808	44,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,649	10,027
為替換算調整勘定	2,361	15,343
その他の包括利益合計	16,288	5,316
四半期包括利益	191,096	49,825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	189,058	46,437
少数株主に係る四半期包括利益	2,038	3,387

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月21日 至平成25年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月21日 至平成26年3月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	286,353	77,725
減価償却費	369,410	378,634
工場再編損失引当金の増減額(は減少)	19,000	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,014	1,125
賞与引当金の増減額(は減少)	58,150	27,074
退職給付引当金の増減額(は減少)	29,577	10,020
受取利息及び受取配当金	3,243	4,723
持分法による投資損益(は益)	2,491	14,338
支払利息	24,211	23,913
為替差損益(は益)	28,029	1,460
デリバティブ評価損益(は益)	92,155	18,371
有形固定資産除却損	2,219	2,085
売上債権の増減額(は増加)	111,343	245,970
たな卸資産の増減額(は増加)	27,905	68,494
仕入債務の増減額(は減少)	534,841	491,808
未払金の増減額(は減少)	26,255	124,678
その他	20,175	33,586
小計	63,003	98,314
利息及び配当金の受取額	3,244	3,967
利息の支払額	24,346	25,087
法人税等の支払額	117,958	91,143
法人税等の還付額	-	562
営業活動によるキャッシュ・フロー	76,057	13,385
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	448,418	345,424
投資有価証券の取得による支出	13,068	5,849
その他	11,959	90,087
投資活動によるキャッシュ・フロー	449,527	261,187
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,710,000	1,820,000
長期借入金の返済による支出	1,354,617	1,372,253
配当金の支払額	68,875	74,601
その他の収入	96,000	165,400
その他の支出	121,671	167,091
財務活動によるキャッシュ・フロー	260,836	371,453
現金及び現金同等物に係る換算差額	29,975	4,016
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	234,772	100,896
現金及び現金同等物の期首残高	1,824,809	1,265,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 1,590,036	¹ 1,366,342

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月21日 至 平成26年3月20日)
(税金費用の計算) 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月21日 至 平成25年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月21日 至 平成26年3月20日)
1 販売費及び一般管理費 販売費及び一般管理費のうち主要な費用及び金額は次のとおりであります。	1 販売費及び一般管理費 販売費及び一般管理費のうち主要な費用及び金額は次のとおりであります。
給与手当 479,997千円 支払運賃 1,072,781千円 賞与引当金繰入額 140,106千円 退職給付費用 28,794千円 貸倒引当金繰入額 1,422千円	給与手当 494,361千円 支払運賃 1,070,852千円 賞与引当金繰入額 135,177千円 退職給付費用 28,675千円 貸倒引当金繰入額 664千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月21日 至 平成25年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月21日 至 平成26年3月20日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成25年3月20日現在)	1 現金及び現金同等物の四半期末残高 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成26年3月20日現在)
現金及び預金勘定 1,773,676千円 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 183,640千円 現金及び現金同等物 1,590,036千円	現金及び預金勘定 1,565,433千円 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 199,091千円 現金及び現金同等物 1,366,342千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年9月21日 至 平成25年3月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年12月6日 定時株主総会	普通株式	68,875	6.00	平成24年9月20日	平成24年12月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年9月21日 至 平成26年3月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年12月5日 定時株主総会	普通株式	74,601	6.50	平成25年9月20日	平成25年12月6日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年9月21日 至 平成25年3月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	2,978,373	7,356,514	604,813	10,939,701	10,939,701
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	2,978,373	7,356,514	604,813	10,939,701	10,939,701
セグメント利益	343,593	1,460,874	112,149	1,916,617	1,916,617

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,916,617
全社費用(注)	1,722,024
四半期連結損益計算書の営業利益	194,592

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年9月21日 至 平成26年3月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	2,910,609	7,646,692	535,494	11,092,796	11,092,796
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	2,910,609	7,646,692	535,494	11,092,796	11,092,796
セグメント利益	423,730	1,306,058	81,036	1,810,825	1,810,825

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,810,825
全社費用(注)	1,758,393
四半期連結損益計算書の営業利益	52,431

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月21日 至平成25年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月21日 至平成26年3月20日)
1株当たり四半期純利益金額	15円16銭	3円67銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	174,032	42,126
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	174,032	42,126
普通株式の期中平均株式数(株)	11,479,157	11,477,216

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 4月30日

マルサンアイ株式会社
取締役会 御中

三優監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 杉 田 純

代表社員
業務執行社員 公認会計士 林 寛 尚

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているマルサンアイ株式会社の平成25年9月21日から平成26年9月20日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年12月21日から平成26年3月20日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年9月21日から平成26年3月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、マルサンアイ株式会社及び連結子会社の平成26年3月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。